

2015年10月

PRESS RELEASE

春の便り ～能「巢鴨塚」より～
公演決定！

作・構成・演出・出演

杉本博司

公益財団法人小田原文化財団
<http://www.odawara-af.com/>

<報道関係者様お問合せ先>

公益財団法人小田原文化財団 広報担当 稲益 Tel: 090-2640-7905 email: press@odawara-af.com

<一般のお客様からの公演に関するお問合せ先>

公益財団法人小田原文化財団 tel: 03-3473-5235 (平日 11時～17時)

<チケットに関するお問い合わせ先>

あうるすぽっとチケットコール <http://www.owlspot.jp/> tel: 03-5391-0516 (10:00-19:00)

<最新公演情報>

小田原文化財団公式 facebook: <https://www.facebook.com/odawaraaf?ref=hl>

小田原文化財団公式 twitter: https://twitter.com/odawara_af

杉本博司通信 twitter: https://twitter.com/odawara_staff

「春の便り」によせて

杉本博司

朗読劇『春の便り』は、能『巢鴨塚』のプロットとして書かれた。

言うまでもない事だが、能という演劇形式の最大の特徴は、登場人物の霊が時間を超越して現れ得ることである。私はこの手法を使って、先の大戦の記憶を、能の形式に置き換えておきたいと思った。我が国では、歴史は能という形式となって、はじめて語り継がれる歴史となる。

今、あの敗戦から七十年という歳月が流れた。その時の流れは、壇ノ浦の平家滅亡から時を経て、鎌倉期に平曲として語られ始めた、その時の流れとほぼ一致する。あまりにも生々しい歴史は、時間の濾過を通してのみ、物語へと昇華するのだ。私は今、その濾過の時が到来したのだと感じる。

「春の便り」とは「ハルノート」を指す。私はA級戦犯として巢鴨に刑死した板垣征四郎の遺言を、謡曲として謡ってみたいと思った。その長文の遺言は漢詩として書かれている。板垣の霊は、焦土と化した祖国の獄中で、この国に春の便りが二度と届かないことを乞い願う。その板垣の願い通り、この国は永遠の冬に閉塞された国として、今、生息している。

盲目の僧の琵琶の音が、どこからともなく聞こえてくるようだ。

2015/2016 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ
『春の便り ～能「巢鴨塚」より～』

<公演概要>

杉本博司は自身の書き下ろし作品として、修羅能『巢鴨塚』を『新潮』2013年1月号に発表しました。将来的な能公演の実現のために、その制作途上の一連の創作活動を「巢鴨塚プロジェクト」と位置付け、現在さまざまな取り組みが進行中です。その一環として、テキストのリーディング公演を行います。

修羅能『巢鴨塚』は、極東国際軍事裁判（東京裁判）のA級戦犯であった板垣征四郎が、巢鴨プリズン収監中に自叙を吟じた漢詩を元にしています。

2014年12月23日未明、杉本博司は、故人への慰霊として、自らの作品の朗読を試みました。実際の刑死場跡（東池袋中央公園）で、処刑開始推定時刻の零時20分から朗読を行いました。

そして、今回の公演。その時の想いを抱きながら、「舞台」に挑みます。劇場に設置された能舞台上に坐するシテ方・大島輝久と囃子方（笛・小鼓・大鼓）。能楽師が醸し出す「能空間」の中、2人の出演者（杉本博司・余貴美子）が語る言霊が朗々と響き渡ります。敗戦70年の節目の年、杉本博司が読む「開戦の詔勅」「終戦の詔勅」の全文朗読は必聴です。そして余貴美子による板垣征四郎の自叙吟は修羅の心根を表現します。また、詔勅・漢詩はスクリーン上に文字化されることにより視覚にも訴えます。

公演日程： 2015年11月11日（水） * 15時開演／19時開演

会場： あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）

主催：公益財団法人小田原文化財団

企画制作：公益財団法人小田原文化財団

共催：あうるすぽっと（公益財団法人としま未来文化財団）

協力：株式会社NHKアート

作・構成・演出・出演： 杉本博司（現代美術作家）
作調： 亀井広忠（能楽師大鼓方葛野流）
出演： 余 貴美子（女優）
大島輝久（能楽師シテ方喜多流）
栗林祐輔（能楽師笛方森田流）
田邊恭資（能楽師小鼓方大倉流）
亀井洋佑（能楽師大鼓方葛野流）

<出演者プロフィール>

杉本博司

1948年東京生まれ。立教大学卒業後、1970年に渡米、1974年よりニューヨーク在住。徹底的にコンセプトを練り上げ、精緻な技術によって表現される銀塩写真作品は世界中の美術館に収蔵されている。近年は執筆、設計へも活動の幅を広げ、2008年建築設計事務所「新素材研究所」を設立、IZU PHOTO MUSEUMの内装設計を皮切りに、oak omotesandoのエントランススペースなどの設計を手掛ける。主な著書に『空間感』（マガジンハウス）、『苔のむすまで』『現な像』『アートの起源』（新潮社）。内外の古美術、伝統芸能に対する造詣も深く、人形浄瑠璃文楽公演『杉本文楽 曾根崎心中付り観音廻り』（2011）、三番叟公演『神秘域』（2011）の演出を手掛け、海外でも高い評価を受ける。今年秋には千葉市美術館にて個展開催予定。1988年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞、2010年秋の紫綬褒章を受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ章受勲。

余 貴美子

1956年神奈川県出身。劇団オンシアター自由劇場、東京荳組を経て、映画・TVドラマへと活動の場を広げる。08年、第63回毎日映画コンクール田中絹代賞受賞。映画「おくりびと」(08/滝田洋二郎監督)、「ディア・ドクター」(09/西川美和監督)、「あなたへ」(12/降旗康男監督)で、第32回・33回・36回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を受賞するなど受賞歴多数。

<チケット情報>

WEB 先行発売日： 8月14日（金）*ポツダム宣言受諾の日

一般発売日： 9月2日（水）*降伏文章調印式の日

チケット料金： 一般 4,500円

豊島区民割引：4,200円（在住・在勤・在学/要証明書提示）

※豊島区民割引は、あうるすぽっとのみ前売取扱

チケット取扱い： あうるすぽっとチケットコール

<http://www.owlspot.jp/> tel: 03-5391-0516 (10:00-19:00)

会場： あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-5-2 ライズアリーナビル 2F tel: 03-5391-0751

公演内容に関するお問い合わせ：公益財団法人小田原文化財団

tel: 03-3473-5235(平日 11:00～17:00) <http://www.odawara-af.com>